

2. 立憲平和主義とは

Q. 次のAとBはどちらが正しいでしょうか？



A. 憲法は、国民が守るべき義務です。

B. 憲法は、権力者が守るべき義務です。



答えは、B。

原始的な社会や専制君主国家でも憲法はあった。

しかし、権力者の自由度が高かったため、
時として横暴な政治が行われ、国民を抑圧。



近代以降の憲法は、国家権力から国民の
権利、自由(人権)を保障。
権力者に歯止めをかけるようになった。

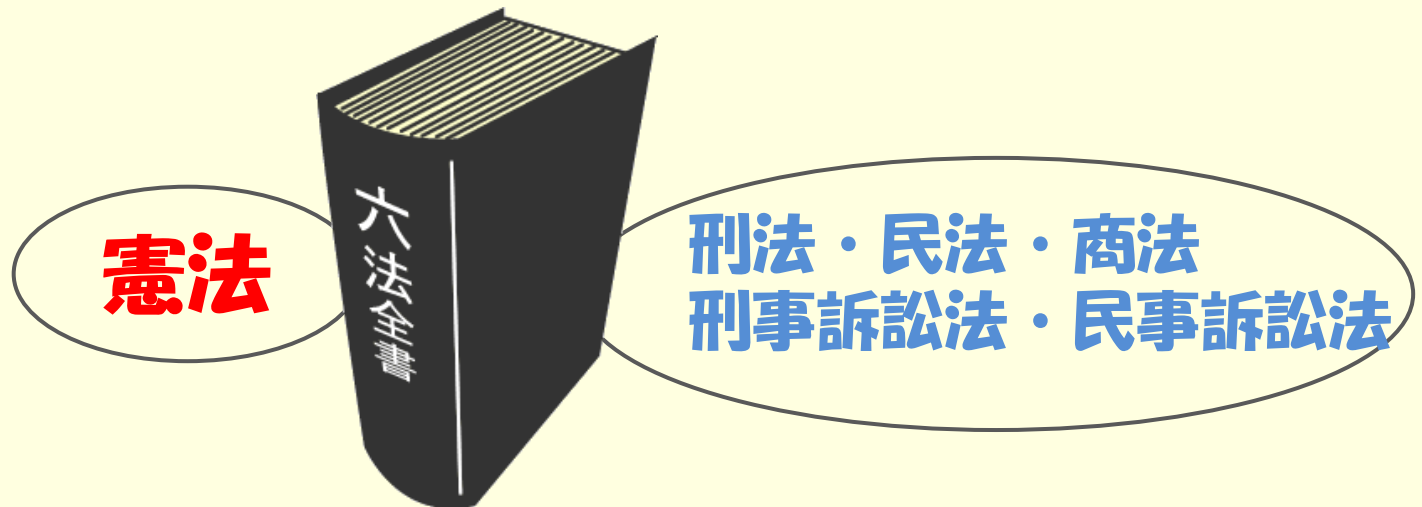


これを、立憲主義といいます。

Q. 法律と憲法の違いは？

法律は、(国民)の自由を制限して、社会の秩序を維持するためのもの。

憲法は、(国家権力)を制限して(国民)の人権を保障するもの。



憲法の目的は、国民の自由(人権)を守ること。



憲法は定めた以外の権限は国家には与えない。

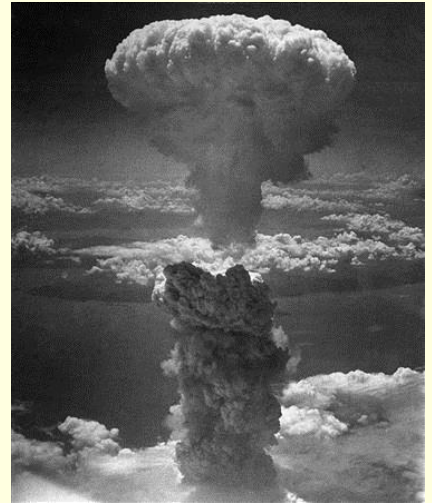


憲法はどの法律よりも上位に位置している。

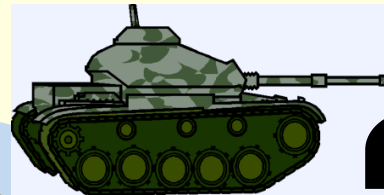
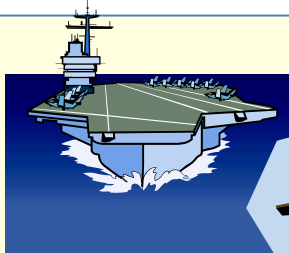


Q. ()に入る言葉は？

第二次世界大戦の悲惨な結果を受けて
戦争違法化の流れに。



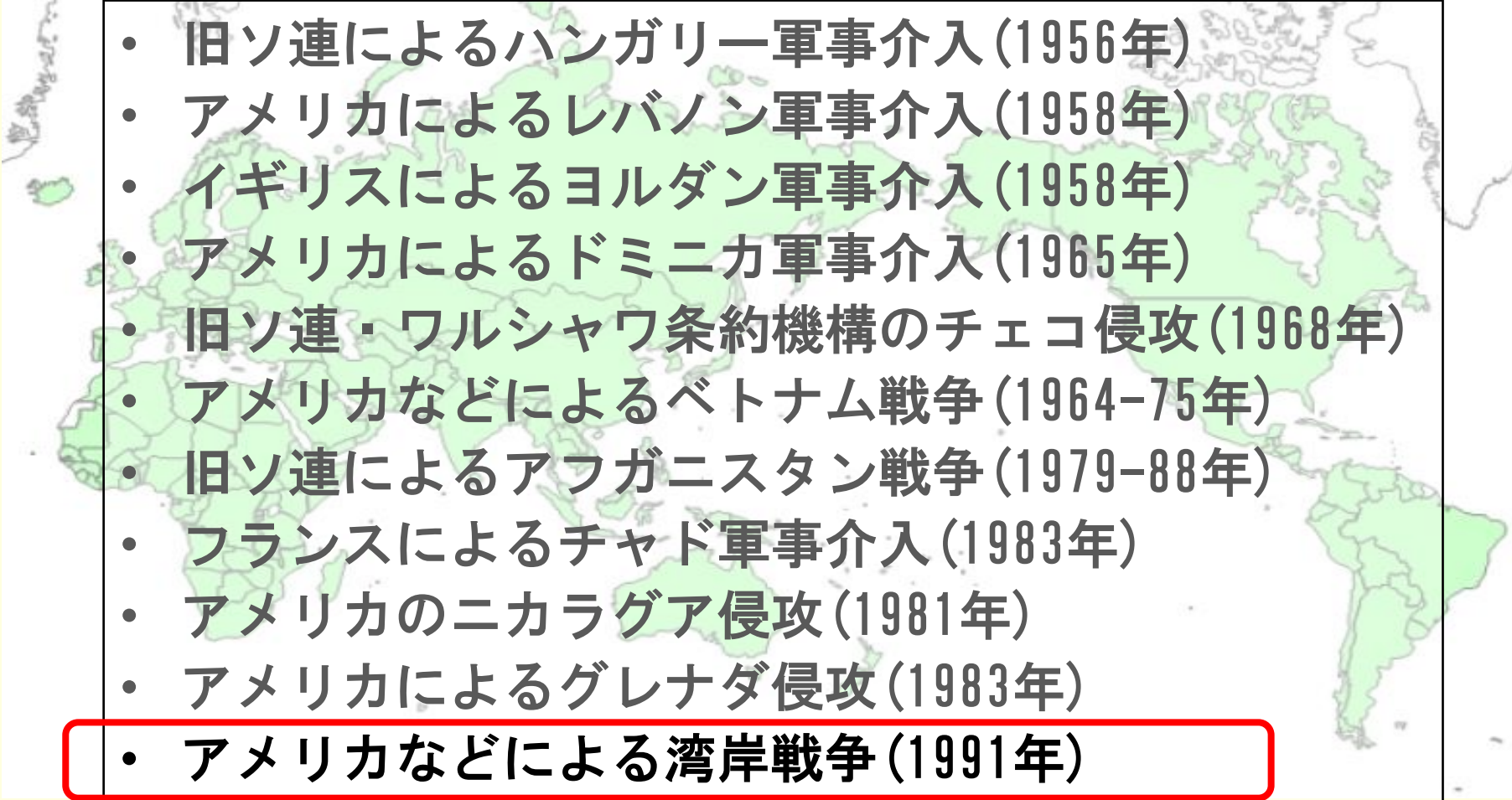
しかし世界各国の憲法では(自衛)のための戦争
は、放棄されなかった。



自衛のための武力行使と主張された戦争

- 旧ソ連によるハンガリー軍事介入(1956年)
- アメリカによるレバノン軍事介入(1958年)
- イギリスによるヨルダン軍事介入(1958年)
- アメリカによるドミニカ軍事介入(1965年)
- 旧ソ連・ワルシャワ条約機構のチェコ侵攻(1968年)
- アメリカなどによるベトナム戦争(1964-75年)
- 旧ソ連によるアフガニスタン戦争(1979-88年)
- フランスによるチャド軍事介入(1983年)
- アメリカのニカラグア侵攻(1981年)
- アメリカによるグレナダ侵攻(1983年)
- アメリカなどによる湾岸戦争(1991年)
- アメリカ・NATOによるアフガニスタン戦争(2001年)

自衛のための武力行使と主張された戦争

- 
- 旧ソ連によるハンガリー軍事介入(1956年)
 - アメリカによるレバノン軍事介入(1958年)
 - イギリスによるヨルダン軍事介入(1958年)
 - アメリカによるドミニカ軍事介入(1965年)
 - 旧ソ連・ワルシャワ条約機構のチェコ侵攻(1968年)
 - アメリカなどによるベトナム戦争(1964-75年)
 - 旧ソ連によるアフガニスタン戦争(1979-88年)
 - フランスによるチャド軍事介入(1983年)
 - アメリカのニカラグア侵攻(1981年)
 - アメリカによるグレナダ侵攻(1983年)
 - アメリカなどによる湾岸戦争(1991年)
 - アメリカ・NATOによるアフガニスタン戦争(2001年)

- 現代の戦争や紛争でも
犠牲の多くは民間人



イラク戦争のクラスター爆弾の被害



ウクライナの航空機撃墜



マレーシア航空機 ウクライナで撃墜か
295人全員死亡

死亡 乗客280人 乗員15人
(ウクライナ当局)

ウクライナの航空機撃墜



イスラエル、ガザ空爆



イスラエル、ガザ空爆



そうした中で、日本国憲法第九条は、



侵略、制裁、自衛、すべての戦争を放棄。

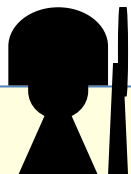
一切の戦力の不保持。

交戦権をも否認。



日本国憲法が、世界史的意義をもつ理由。

戦争



究極の人権侵害

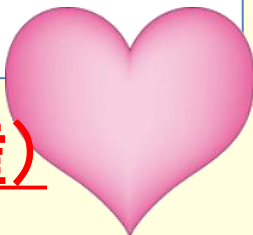


国防権力の制限

(戦争に民衆を動員するあらゆる試みを制限)

国民の平和的生存権
を保障

(人権の中の人権)



立憲主義(第九条)



平和主義(前文)

立憲平和主義

日本国憲法

国民主権

基本的人権

永久平和主義

参政権

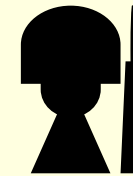
社会権

自由権

戦争の放棄

戦力の不保持

交戦権の否認



平和的生存権

(人権の中の人権)

